

# 令和7年度東京都高齢者権利擁護推進事業 「施設内リーダー職員研修(看護実務者研修)」募集要項

**本紙の記載事項すべてにお目通しの上でお申し込みください。**

**お申込みから研修当日までの流れは、6ページの「15」をご覧ください。**

## 1 研修目的

この研修は、介護施設等において、高齢者が尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援し、権利擁護に必要な取組を行うために介護施設等の看護職員に求められる実践的な知識・技術の習得を目的として実施します（講義及びグループワーク等）。

また、地域包括ケアにおける高齢者の権利擁護のために必要な援助等を実践できる視点も加味して行います。

## 2 研修実施機関

公益財団法人東京都福祉保健財団 人材養成部 権利擁護支援室（東京都高齢者・障害者権利擁護支援センター）

※ 東京都(福祉局高齢者施策推進部)から委託を受けて実施します。

## 3 対象者

介護老人福祉施設（地域密着型を含む）及び介護老人保健施設の現場において、実際に保健医療サービス及び福祉サービスを提供している**看護職員**

※ **看護師及び准看護師以外の方は、受講できません**のでご注意ください。

※ **平成20年度から令和6年度までの間に、この研修を受講され、「修了証書」が交付されている方は、お申込みできません。**なお、現在の所属施設とは異なる施設の所属時に受講し、修了証書が交付されている方も対象になりませんのでご注意ください。

※ インターネットを利用したオンライン研修となるため、オンライン講義の視聴環境は、推薦する事業所が責任をもって確保の上でお申し込みください。なお「オンライン研修受講で推奨するシステム要件」については、7～8ページをご参照ください。

## 4 研修日程等

次の日程で2コースを開催します。研修内容は同じですので、いずれかのコースをお申し込みください。

研修日程			開催方法
A コース	1日目	令和8年1月13日（火曜日）	Zoomによるオンライン（ライブ配信）
	2日目	1日目受講後から3日目受講まで	講義動画配信（YouTube限定公開）
	3日目	令和8年1月29日（木曜日）	Zoomによるオンライン（ライブ配信）
B コース	1日目	令和8年2月5日（木曜日）	Zoomによるオンライン（ライブ配信）
	2日目	1日目受講後から3日目受講まで	講義動画配信（YouTube限定公開）
	3日目	令和8年2月26日（木曜日）	Zoomによるオンライン（ライブ配信）

## 5 受講料

無料

## 6 定員

各コース60名 ※先着順ではございません。

## 7 「事前課題」及び「リフレクションシート」の提出について

### (1) 「事前課題」の提出について

研修カリキュラムを実施する上で、研修の実施前に課題を提出していただきます。

「自施設での権利擁護、高齢者虐待の防止への取組み」に関する内容を予定しています。課題の詳細は、受講決定の際にご案内します。

### (2) 「リフレクションシート」の提出について

研修2日目のカリキュラムは、講義動画配信（YouTube限定公開）により実施します。聴講後、科目で学んだことや気づき等についてご記入いただき、研修3日目受講前の提出期日までにご提出いただきます。研修2日目の受講確認は、この「リフレクションシート」の提出により行います。提出方法等の詳細は、受講決定の際にご案内します。

## 8 カリキュラム（予定）※ 各項目は、若干の変更となる場合があります。

### 【1日目】Zoomによるオンライン（ライブ配信）

Aコース：1月13日（火曜日） Bコース：2月5日（木曜日） 10時～16時45分

時間	形態	科 目	内 容 等	講 師（敬称略）
95分	講義	【科目1】 高齢者の権利擁護 (高齢者虐待、成年後見制度活用 等)	<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者の権利擁護の概論</li><li>・高齢者を取り巻く社会環境と高齢者虐待の実態</li><li>・高齢者虐待の具体例</li><li>・身体拘束の廃止に向けた取組み</li><li>・意思決定支援 等</li></ul>	(公財) 東京都福祉保健財団 東京都高齢者・障害者 権利擁護支援センター 専門相談員
70分	演習	【科目2】 施設内での高齢者虐待防止、権利擁護の取組み	<ul style="list-style-type: none"><li>・「事前課題」の内容をグループ内で共有</li><li>・受講者同士の質問を通じた気づき</li><li>・「困っていること」等に対して、権利擁護の視点をもってどのように向きあうか、取り組むかを考えることを通して、施設看護職に求められている役割を再認識する</li></ul>	(公財) 東京都福祉保健財団 東京都高齢者・障害者 権利擁護支援センター 専門相談員
120分	講義	【科目3】 「生活の場」で提供される看護の特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>・「生活の場」としての施設での看護職の位置づけ</li><li>・医師のいない場での看護職の役割</li><li>・急変時の対応の基本</li><li>・看取り看護の基本</li><li>・医療行為の基本</li><li>・権利擁護としての看護職の役割等</li></ul>	〈看護指導者養成研修修了者〉 松尾 香苗 (介護老人保健施設グリーンポート恵比寿 看護師長)
10分	総括	まとめと振り返り	1日目の振り返りと2日目に向けた案内	進行（事務局）

### 【2日目】講義動画配信（YouTube限定公開による聴講）

各コース1日目終了後から3日目受講までの期間に各自聴講し、「リフレクションシート」を期日までに提出します。（「7 「事前課題」及び「リフレクションシート」の提出について」参照）

時間	形態	科 目	内 容 等	講 師 (敬称略)
75 分	講義	【科目 4】 介護保険制度と看護職員の役割	・介護保険制度と地域包括ケアシステムの基本的な理解 ・施設における看護職の位置づけ 等	厚生労働省老健局 高齢者支援課 老人介護専門官 菊地 沙織
各 90 分	講義	【科目 5】 高齢者の心身の理解、認知症高齢者の理解と看護	・高齢者の心身の特徴とフィジカルアセスメント (気づきと観察) ・認知症の医学的・心理的理 ・認知症の人の生活のアセスメントと認知症ケア ・認知症の人の家族の理解と支援 等	順天堂大学医学部附属 順天堂東京江東高齢者 医療センター 看護部長 佐藤 典子
	講義	【科目 6】 リスクマネジメントと権利擁護	・権利擁護の観点からみた介護事故防止の考え方 ・事故につながる不適切なケアと防止 ・事故防止のための体制整備 ・介護事故発生時の対応 等	株式会社フォーサイツ コンサルティング 代表取締役 浅野 瞳
	講義	【科目 7】 生活の場での看取り① ～グリーフケア・セルフケア～	・看取り期における家族支援 ・グリーフケア、セルフケアに関する基本的知識の習得 ・デスカンファレンス 等	がん研有明病院 腫瘍精神科 主任公認心理師/臨床心理士 厚坊 浩史

### 【3日目】Zoomによるオンライン（ライブ配信）

Aコース：1月29日（木曜日） Bコース：2月26日（木曜日） 10時～16時30分

時間	形態	科 目	内 容 等	講 師 (敬称略)
120 分	講義 及び 情報 交換	【科目 8】 権利擁護の視点から 考える感染症対策 (体制整備、発生時 の対応の基本)	・感染症対策として必要な体制整備、発生時の対応等の基本 ・「生活の場」での感染症対策に関する事例をとおした、感染症対策における権利擁護実践への理解 等	〈看護指導者養成研修修了者〉 杉浦 淑美 (介護老人保健施設ジェロン トピア菊華 看護師長)
60 分	講義	【科目 9】 生活の場での看取り ②～本人中心のチ ームケア推進に向けて ～	・本人意思の確認の在り方 (ACP, 意思決定支援等) ・看取り期における家族支援、多職種協働による看取りケア ・生体の死への変化 ・環境を整えていく視点 等	〈看護指導者養成研修修了者〉 大久保 実 (高齢者総合福祉施設 吉祥寺ホーム 統括施設長)
100 分	演習	【科目 10】 権利擁護に必要な ケア、体制づくり	・3日間の総合演習 ・自施設における高齢者虐待防止に向け、看護職として主体的に関わるために必要なことは何かを探る ・「事前課題」で課題把握された内容を、実務につなげるための整理と準備 等	(公財) 東京都福祉保健財団 東京都高齢者・障害者 権利擁護支援センター 専門相談員

10分	総括	総括・講評 事務連絡	3日間のまとめ、演習支援者からの フィードバック、修了証発行等事務 連絡 等	進行（事務局）
-----	----	---------------	--	---------

## 9 申込締切

令和7年12月2日（火曜日）23時59分

## 10 修了証書について

受講修了者には、「修了証書」（東京都知事名）を交付します。

ただし、「事前課題」及び「リフレクションシート」の提出、かつZoomによるオンライン研修の出席時間4/5以上が研修の修了要件となります。

## 11 個人情報の取扱いについて

受講者推薦及び申込書に記載された個人情報については、当財団個人情報の保護に関する要綱に基づき適正管理を行い、当該研修業務管理以外の目的で利用することはありません。

## 12 受講者の決定について（申込み結果について）

12月下旬（予定）に「申込みの結果」についてメールにて通知いたします。受講決定者につきましては、研修予約システムのマイページから「受講決定通知兼受講票」及び「受講の手引き」等をダウンロードしてください。

なお、申込者数が定員を上回った場合は、受講できない可能性がありますので予めご了承ください。

## 13 その他

- (1) その他詳細につきましては、受講決定時にご案内する書類をご確認ください。
- (2) 受講者の方の受講環境やインターネット環境、機器（パソコン等）の不具合等による研修受講への影響につきましては、当財団では責任を負いかねますので、予めご了承ください。

## 14 申込方法 下記の方法で、財団ホームページ内「研修予約システム」からお申し込みください。

＜手順＞ ※「申込みイメージ図」（5ページ参照）もご参照ください。

### (1) 東京都福祉保健財団ホームページ

- ①「東京都福祉保健財団」 → トップページ <https://www.fukushizaidan.jp/>
- ②「研修を受講される方へ」
- ③「研修・セミナー」の「高齢者権利擁護推進事業」
- ④「5.施設内リーダー職員研修（看護実務者研修）」



### (2) 「申込専用ページはこちら」（同研修名表枠内）をクリック。（要パスワード入力）

※ パスワードは、封書でお送りした「開催通知」に記載しております。

### (3) 「研修予約システム」にてお申込みください。※「申込みイメージ図」（5ページ参照）

- ※ お申込み完了後に御登録されたメールアドレスへ「申込完了メール」（自動送信）が届きます。
- ※ 「申込完了メール」が届かない場合、お申込みが正しく完了されていない可能性がありますのでご注意ください。

【重要】「申込受付完了メール」（自動送信）の受信確認及び保存をお願いします。

受付完了メールに記載のURLから、お申込内容の確認や変更が可能です（変更は申込締切日まで）。このURLは、受講決定や事前課題・リフレクションシートの提出手続きに必要となりますので、申込受付完了メールは必ず保存してください。

## 申込みイメージ図（ホームページから予約システムに入るまで）

高齢者権利擁護推進事業

### 5 施設内リーダー職員研修（看護実務者研修）

①財団ホームページ掲載ページ

介護施設等において、実際に権利擁護の取り組みを担当する看護職員（看護主任等）を対象に、医療的な観点から権利擁護の取り組みを行うために必要となる実践的な知識・技術を習得するための研修を実施します。

【本研修は、東京都内の介護施設等に従事する看護職員が対象です。】

対象者：介護老人福祉施設（地域密着型を含む）及び介護老人保健施設の現場において、実際に保健医療サービス及び福祉サービスを提供している看護職員

※看護師及び准看護師以外の方は、受講できませんので御注意ください。

※平成20年度から令和6年度までに本研修を受講され「修了証書」が交付されている方はお申込みできません。

※対象事業所には、11月中旬に開催通知を別途郵送いたします。

・『申込専用ページ』にアクセスするには、パスワードが必要です。研修開催通知でご案内している「申込専用ページパスワード」を入力してください。

（3日間×2コース）

	研修日程	定員	実施方法	募集要項	申込関係
Aコース	令和8年1月13日（火曜日）～1月29日	60	オンライン	募集要項	『申込専用ページ』はこちら
Bコース	令和8年1月26日（木曜日）（3日間）	名	（オンライン）ライブ配信	募集要項	『申込専用ページ』はこちら

※本研修は「事前課題」等、研修課題の提出があります。お申込前に必ず「募集要項」をよくお読みの上お申込みください。

**申込締切：12月2日（火曜日）23:59**

#### 「研修予約システム」入力時の留意事項等

- 同一内容で2コース（Aコース・Bコース）を実施します。いずれかのコースの「詳細」ボタンを選択して、受講申込みにお進みください。
- 各コース定員を超えると人数を調整する場合があります。申込事項に「他コースへの振替の可否」について確認する事項があります。人数調整が必要になった場合、「他コースへの振替可能」と回答された方には振替のご協力をいただく場合があります。

高齢者権利擁護推進事業

保護中: 営介する高齢者虐待防止・動画視聴

保護中: 「虐待対応研修学習専用ページ」

3 介護サー高齢者権利擁護推進事業

保護中: 介護等高齢者権利擁護推進事業

保護中: 『介護者等「高齢者虐待防止・動画視聴専用ページ」』

1) 営業者による研修（基礎研修）

②「申込専用ページはこちら」から  
③「研修予約システム」へ進む  
(要パスワード入力)

（高齢者虐待防止・動画視聴専用ページ）

※ なお、「振替不可」と回答された場合も、ご希望どおりのコースの受講決定が保証されるわけではありませんのでご了承ください。

③ 「生年月日」につきましては、「修了証書」発行の際に必要となります。毎年、生年月日の記載間違いが発生していますので、担当者が申込む場合は、必ず申込希望者（受講者）に確認の上、入力をお願いします

④ 1回のお申込みで複数人分のお申込みはできません。同一施設から複数人のお申込みを希望する場合は、都度、予約システムへのお申込みをお願いします。なお、定員を超過した場合、人数調整を行う可能性があります。そのため、それぞれのお申込みの「団体からの連絡事項欄」に受講優先順位番号をご記入ください。

## 1.5 お申込みから研修当日までの流れ

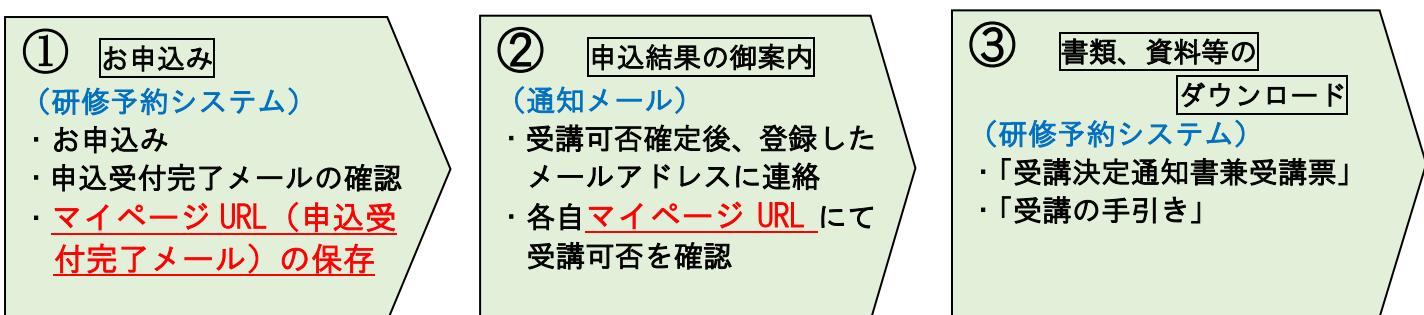
申込受付から申込結果通知、ZOOMのURLのお知らせ等一連の手続きのご案内は、「申込受付システム」にご登録されたメールアドレスへ送信されます。封書・ファクスによる連絡は行いませんのでご留意ください。

お申込みから研修当日までの大まかな流れを以下お示しします。連絡時期等の参考にしていただき、メール受信をご確認ください。

～12月2日まで

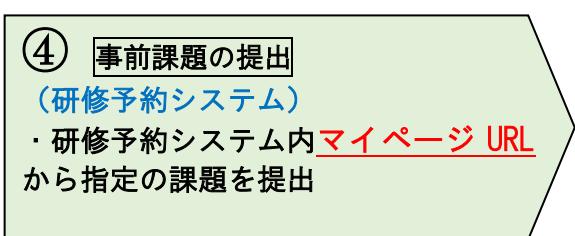
12月下旬頃予定

受講決定後から



Aコース:令和8年1月8日（木曜日）まで

Bコース:令和8年2月3日（火曜日）まで



\*2日目研修の受講確認（「リフレクションシート」の提出方法）は、受講決定の際にご案内します。

## 1.6 本研修の問い合わせ先

公益財団法人東京都福祉保健財団 人材養成部 権利擁護支援室

東京都高齢者・障害者権利擁護支援センター 研修担当

〒163-0719 東京都新宿区西新宿2-7-1 新宿第一生命ビルディング19階

電話番号：03-6302-0395（平日8:45～17:30 ※土、日、祝日を除く）

E-mail: ks-ns-moushikomi@fukushizaidan.jp

# オンライン研修受講で推奨するシステム要件

オンライン研修は、「Zoom」を使用して実施します。具体的な受講手順については、オンライン視聴ガイド（受講決定の際にご案内します）をご覧ください。

オンライン講義の視聴環境は、事業者が責任をもって確保してください。当財団の責による事由以外で視聴できない場合は、いかなる理由でも修了は認められませんので、ご了承ください。

## 《オンライン講義受講で推奨するシステム要件》

### 1 システム要件

#### 【必須環境】

- ・ インターネット接続：有線または無線ブロードバンド（3G または 4G/LTE）
- ・ スピーカーとマイクー内蔵、USB プラグイン、またはワイヤレス Bluetooth
- ・ ウェブカメラまたは HD ウェブカメラー内蔵または USB プラグイン
- ・ 講義は双方向の通信（質疑応答等）の予定はありませんが、受講状況を画面で確認します。演習はグループワークや複数名に発表していただく予定です。受講の際には講義・演習ともカメラ機能・マイク機能をご用意ください。

### 2 サポートされるオペレーティングシステム（OS）等

MacOS 10.13 以降を搭載の Mac OS X

Windows11 または 10

Ubuntu 12.04 以降

Mint 17.1 以降

Red Hat Enterprise Linux8.0 以降 他

- ・ 受講の際には、受講者ごとにパソコンをご用意ください。タブレット・スマートフォンは処理能力が劣り研修の進行に支障が出ますので、お避けください。パソコン以外のデバイス（端末）で受講される場合は不具合のお問合せには対応できません。

### 3 サポートされるブラウザ

- ・ Chrome(2 バージョン前から最新バージョンまで)
- ・ Firefox(2 バージョン前から最新バージョンまで)
- ・ Edge(2 バージョン前から最新バージョンまで)
- ・ Safari(2 バージョン前から最新バージョンまで)

#### 【補足】

- ・ 研修中は、Google chrome を使用した操作方法で説明します。操作に不安がある方は、事前に Google chrome をダウンロード（無料）してご準備ください。
- ・ Windows Edge を経由した視聴の場合、画像・音声の一部が制限される場合がありますので推奨しません。

#### 4 プロセッサおよびRAMの要件

最 低	推 奨
プロセッサ	デュアルコア 2Ghz 以上
RAM	4Gb

注意：Linux は、OpenGL 2.0 以上をサポートできるプロセッサまたはグラフィックスカードを必要とします。

【参考】CPUとRAMの確認方法

Windowsの場合：スタートボタン（Windowsマーク）> 設定 > システム  
> バージョン情報で確認できます。

Macの場合：アップルマーク > このMacについて > 概要で確認できます。

#### 5 帯域幅・通信量の目安

オンライン研修で使用する帯域幅は、視聴者のネットワークが 3G、Wi-Fi、または有線ネットワークに応じて自動的に調整されますが、通信環境により音声・画像の質が影響します。  
できる限り有線 LAN をご準備ください。

受講に推奨される帯域幅：

- 講義： 50-150kbps（下り）
- 演習： 20Mbps/20Mbps（上り/下り）

【参考】通信速度の確認方法

研修を開催する時間帯に合わせて、通信環境の計測サイトで実計測してみてください。  
(参考サイト)「インターネット回線の速度テスト Fast.com」 <https://fast.com/ja/>

#### 6 その他

研修当日（1日目及び3日目）のZoomミーティングID等につきましては、受講決定の際、別途ご案内します。